

第45回 古地図企画展示

『江戸時代の日本図・中国図』

平成22(2010)年12月11日[土]

～平成23(2011)年2月13日[日]

於 一階 ホール

— 出品目録 —



No.9 寺島良安 『中国図』

文政4年(1821)に幕府に提出された伊能忠敬の日本図は、江戸時代地図制作の集大成ともいえ、現在の私たちが見ても、日本列島の形に違和感が生じないほどの出来栄です。しかし、ここに至るまでには、いろいろな日本図が作られてきました。今回は、行基図系日本図から石川流宣や長久保赤水などが作った江戸時代の日本図を展示し、日本図の変遷を概観します。

さらに、当時の人々が憧れた国、「中国」を描いた地図も出品。寺島良安作『中国図』は、博学の彼らしい詳細な地図です。長久保赤水の『大清広輿図』も並べますので、両者の地図を見比べるのも一考です。また、葛飾北斎が描いた鳥瞰図も展示します。

諸般の事情により、1階ホールでの企画展となったため、展示数が少なくなりましたが、それぞれの資料は江戸時代を代表する地図です。どうぞ、当時の人々が思い描いた日本や中国の姿をご覧ください。



No.8 伊万里焼円形日本図皿  
(鶴に方位盤)

No	資料名	作者等	年代	版種など	寸法(cm)	備考
<b>日本図と地図皿</b>						
1	行基菩薩説大日本国図[1面]		江戸時代初期 (承応頃)	木版	80.4×42.3	南波
2	大日本国大絵図[1鋪]	石川流宣	正徳2年(1712)刊	木版手彩	89.9×170.4	南波
3	改正日本輿地路程全図[1鋪]	長久保赤水	安永8年(1779)刊	木版手彩	83.2×134.3	秋岡
4	伊能小図 北海道[1鋪]	伊能忠敬	文政4年(1821)	手書手彩	161.6×181.1	南波
5	無筆重宝国尽案内[1枚]		江戸時代末期	木版刷彩	26.0×36.4	南波
6	大日本名所一覽[1鋪]	喜斎立祥	江戸時代末期	木版刷彩	36.5×122.9	南波
7	源内焼方形日本図皿[1枚]	志度窯 (讃岐)	江戸時代中～後期 (18世紀後期)	緑釉	31.5×31.5, 高7.0	
8	伊万里焼円形日本図皿 (鶴に方位盤)[1枚]	有田窯 (肥前)	「本朝天保年製」銘	磁器 (染付)	径48.3, 高7.1	
<b>中国図</b>						
9	中国図[1幅]	寺島良安	享保12年(1727)	手書手彩	166.2×260.0	
10	大清広輿図[1鋪]	長久保赤水	天明5年(1785)識	木版手彩	185.8×190.9	南波
11	唐土歴代州郡沿革地図[1帖]	長久保赤水	寛政元年(1789)序	木版手彩	35.3×20.2	南波
12	唐土名所之絵[1鋪]	葛飾北斎	天保11年(1840)刊	木版刷彩	41.0×53.2	南波
13	大清一統図(内題)[1鋪]	新発田収蔵	江戸時代末期	木版刷彩	49.5×72.8	南波

\*備考欄の南波は南波松太郎コレクション、秋岡は秋岡武次郎コレクションの略です。